

2021年度（令和3年度）事業報告書  
（令和3年4月1日 から 令和4年3月31日まで）

特定非営利活動法人群馬ダルク

1 事業実施の成果

薬物依存症の回復支援では、社会復帰を果たす手助けができました。また、薬物依存症者本人や家族に対する相談、支援、プログラムの実施をしております。

- ・障害福祉サービス、自立訓練（生活訓練）施設「トゥデイ」を、年間を通して支援ができました。
- ・「トゥデイ」を多機能型事業所にし、自立訓練（生活訓練）とR3年4月より就労継続支援B型のサービスを提供することができました。
- ・メッセージ活動、講演会、研修会、セミナー等に関しては、コロナ渦で中止や、オンラインでの開催もありましたが、各地のダルク・家族会でのTCプログラム提供の実施、前橋保護観察所・前橋刑務所・榛名女子学園・横須賀刑務所・あいメンタルクリニックでのプログラム提供の実施、各地の精神病院・家族会・関係機関・中学・高校・大学での講演または授業の実施ができました。
- ・海外の先進治療プログラムの翻訳・研究・開発・拡散を実施し、日本の薬物依存症者回復支援施設関係者やその他の関係機関にプログラム提供、またはメッセージを通じて発表することができました。
- ・「令和3年度群馬県共同募金事業・新しい活動をつくりだす助成（企画型I配分）3ヵ年企画」の助成を受け、企画名「依存症者が地域に定着しながら治療を継続していくためのサービス充実」という事業で、今年度も活動いたしました。今年度は3ヵ年目の事業でした。

依存症が重症化し、本人と家族が地域から孤立していく現状を減らし、早期発見・早期治療ができる仕組みを作っていくための活動をしました。

事業内容

1. 相談件数の増し
  2. 通所型事業所の利用者の多様化（女性など）
  3. 支援プログラムの増し及び拡散
  4. ネットワーク参加機関の増加
- ・「令和3年度群馬県依存症等対策事業費補助金」を受け、依存症者本人に向けたメッセージ・依存症者を抱える家族および関係者に対して家族会を実施することができ、依存症についての普及啓発活動を実施することができました。
  - ・2020年初頭からまん延しているコロナウイルスの影響で、利用者の活動範囲の狭まり、メッセージ活動・プログラム提供の中止・延期などがありましたが、徹底した感染症予防対策の実施により無事年度を終わることができました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者
薬物依存症者の回復施設 「群馬ダルク」の運営事業	当事者の回復の為にの援助および支援を目的とする共同施設の管理および運営等	随時	高崎	3人	当事者30人
自立訓練(生活訓練)施設 就労継続支援B型施設 「トゥデイ」の運営事業	地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるようにするために必要な訓練をする支援	随時	前橋	7人	当事者30人
プログラム提供	1.各地のダルク・家族会・矯正施設・精神病院へプログラム提供 2.各地の学校・関係機関へ講演 3.当事者および家族の抱える心理相談・情報提供	随時	活動拠点 各地	3人	当事者 および 家族延べ 2000人
群馬県共同募金会 赤い羽根事業 「新しい活動をつくりだす助成」企画型I配分 3ヵ年企画3ヵ年目事業	1.啓発活動として、依存症講座・地域連携ネットワーク構築会議・家族向けのメッセージ活動をオンラインで開催、関係機関との連携を図るため要請には随時対応 2.情報提供として海外の先進治療プログラム・併存性障害(重複障害)者向けプログラム・通所向け・家族向けプログラムの翻訳・研究・開発、新規パンフレット配布、HPの更新、会報・SNSを通し情報発信 3.環境整備として通所施設の外壁塗装防水工事、通所入所施設の修繕工事、通所入所施設の備品購入、PC関連機器・オンラインツール機器増備	R3年4月 ～ R4年3月	県内 及び 活動 拠点 各地	5人	当事者30人 および 一般市民 関係機関 家族関係者 など 不特定多数
群馬県 「令和3年度群馬県依存症 等対策事業費補助金」	依存症の普及啓発活動として依存症者本人に向けたメッセージ・依存症者を抱える家族および関係者に対して家族会を開催、情報提供の実施	R3年7月 ～ R4年3月	高崎 ・ 前橋	4人	当事者30人 および家族 延べ100人

## 3 会議の開催に関する事項

### (1) 総会

2021年6月11日 17時より NPO 法人群馬ダルクにて開催

### (2) 理事会

2021年6月11日 18時より NPO 法人群馬ダルクにて開催